

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日文） ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるよう
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わった理することが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の目的や意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的な表現の構想を練ることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数
			絵 彫	デ	映						
1 学 期	「楢木祭ポスター制作」 【知識及び技能】 ポスターの役割や造形的な視点について理解を深め、意図に基づいて表現するための技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生成した主題のイメージや全体のデザインの機能や効果について考えを深め、創造的に構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 ポスターデザインが伝える役割やその特性を生かして主体的に創作活動に取り組む。	【指導事項】 ポスターの役割について解説し、水張りを行う。タイトルとテーマの関連性を確認し、レイアウトを行う。 【教材】 プリント、ワークシート、B3木製パネル、ケント紙、ハケ、水張りテープ 【一人1台端末の活用】 ポスターデザインについて調べ、表現の成り立ちを知り、アイデア収集を行う。	○	○			【知識・技能】 グラフィックデザインの分野としてのポスターの役割を知る。 【思考力・判断力・表現力等】 文字情報やイラストの特性を知り、図案に活かしている。 【学びに向かう力・人間性等】 形や構成を通して他者に自己の意図する表現を伝えている。	○	○	○	18
	「キャラクターデザイン」 【知識及び技能】 所属部のイメージを多角的な視点で捉え、意図に応じてビジュアル面のデザインを工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 部活イメージの形態を活かして性格や色彩を考え、テーマに合わせて創意工夫しゆるキャラに落とし込む。 【学びに向かう力、人間性等】 キャラクターデザインに主体的に取り組み、他者に発想や形の良さと面白さを伝えようとする。	【指導事項】 キャラクターデザインについて理解する。ワークシートを用いてコンセプト、テーマカラー等、構想を練ってアイデアを出し、アイデアシートに清書する。 【教材】 ワークシート、アイデアシート、色鉛筆、マジック 【一人1台端末の活用】 著作権について調べた上で、色の組み合わせや色彩の効果を理解し、他者に与える印象の違いについて学ぶ。	○	○			【知識・技能】 キャラクターデザインの目的や、具現化された造形の特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 効果的な配色や構図、色の比率をゆるキャラに活かしてオリジナルの図案を考案する。 【学びに向かう力・人間性等】 キャラクターデザインを通して、自己と他者の価値観の相違について理解する。	○	○	○	8
2 学 期	「キャラクター立体制作」 【知識及び技能】 粘土の扱い方を学び、芯材への肉付けの技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 形態を活かしたポーキングを考え、イメージと合致させ、創意工夫して粘土立体を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 材料や道具を効果的に使い、見通しを持って制作を進めていく。	【指導事項】 粘土の扱い方について、色の混ぜ方や保存方法について理解する。ポリウム感の再現や表面を丁寧に仕上げる工夫について学ぶ。 【教材】 粘土、アクリル絵具、粘土ヘラ、保存袋、アルコール、霧吹き、キッチンペーパー 【一人1台端末の活用】 造形の知識を端末を利用して学ぶ。	○		○		【知識・技能】 配色や構成についてデザイン案通りの再現を追求している。立体表現の造形的美しさの理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 粘土を扱いやすい水分量や絵具量、使う分量のバランスを的確にするための比率を知り、作業に活かす。 【学びに向かう力・人間性等】 特性に合わせた材料の扱い方を工夫し、積極的に表現に活かしている。	○	○	○	14
	「絵画制作」 【知識及び技能】 絵の具の使い方を理解し新しい技法に挑戦する。 【思考力、判断力、表現力等】 食べ物という身近なテーマをもとに、社会問題や異なる時代や文化を考えコンセプトを練る。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマに対して独自の視点を持ち、見方や感じ方を深める。	【指導事項】 基本的な道具の使い方やパーツの作成方法について学ぶ。形や色の組み合わせで変わる印象、彩度と明度の構想を練る。 【教材】 画用紙、絵の具、クレヨン 【一人1台端末の活用】 造形の知識を端末を利用して学ぶ。	○				【知識・技能】 食べ物を描いた絵画や作品を鑑賞し、自身の表現したいものが表せるように工夫する。 【思考力・判断力・表現力等】 一つのテーマから様々な方向性に発想を広げ、コンセプトを深める。 【学びに向かう力・人間性等】 与えられたテーマについて深く考え、自分の表現したいことを明確にして作品に昇華させる。	○	○	○	14
	「コラージュ制作」 【知識及び技能】 雑誌や新聞などを切り抜き一つの画面に配置し表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 手を動かしながら得た発想や視覚的な発見を制作に繋げる。	【指導事項】 平面と立体の中間の表現ができることを伝え、参考作品を提示する。 【教材】 色紙、ハサミ、デザインカッター、ボンド、のり、針金	○		○		【知識・技能】 デザインカッターやニッパー、のりとボンドの違いなど、道具の特性を理解し知識を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 形をつくる作業しながら作品のタイトルやコンセプトを考え伝えたいことをはっきりさせ	○	○	○	16

